

製品名: Na⁺ CP タイプ II β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14373**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	SCN2B
別名	SCN2B; Sodium channel subunit beta-2
遺伝子 ID	6327.0
SwissProt ID	O60939
免疫原	抗血清はヒト SCN2B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

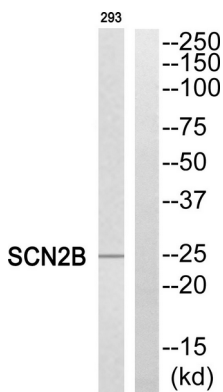
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、II型電位依存性ナトリウムチャネルの $\beta 2$ サブユニットである。コードされるタンパク質は、細胞間接着および細胞移動に関与する。この遺伝子の欠陥は、ブルガダ症候群、心房細動、または乳幼児突然死症候群の原

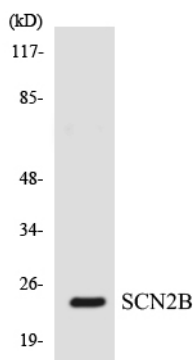
因となり得る。[RefSeq 提供、2015年7月],機能: ナトリウムチャンネルのヘテロ三量体複合体の組み立て、発現、および機能調節に不可欠である。サブユニット $\beta 2$ は、細胞膜表面積の増加と微絨毛への折り畳みを促進する。TNR と相互作用し、ランヴィエ絞輪におけるナトリウムチャンネルのクラスター形成および活性調節に重要な役割を果たす可能性がある。類似性: 1つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。サブユニット: ナトリウムチャンネルは、孔を形成する α サブユニット、 $\beta 1$ サブユニット、および $\beta 2$ サブユニットからなる。 β -1 は α と非共有結合的に結合し、 β -2 はジスルフィド結合によって共有結合的に結合している。SCN10A および TNR との相互作用。組織特異性: 脳特異的。、

研究分野

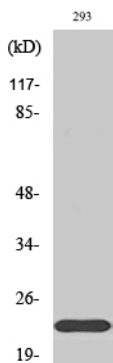
画像データ



SCN2B 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが SCN2B ペプチドでブロッキングされている。



SCN2B 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



Na⁺ CP タイプ II β ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

